

# ぶらり社南～渕編～

正倉院所蔵の道守村開田地図によれば、村の北方の山を船越山と記し、その西麓に寒江沼が見え、この渕の所在により渕村の名が生まれたと思われる

## ①ふち中央公園

(石油貯蔵設施設立地対策等交付金施設)

一次避難所。毎年防災訓練では約200人が参加。

ゲートボール場とグラウンドを完備している。春には町内の「体育祭」を行い、夏は「ラジオ体操」、秋まつりでは約300名ほどが参加する「BBQ」、新春には渕の伝統行事「左義長」が行われる。年男・年女が中心となり、町内総出で建てている。



## ⑨ふち西公園

約30年前に区画整理で作られた公園。天気の良い暖かい日には、子ども連れの親子が遊ぶ姿をよく見かける。公園に隣接する遊歩道はきれいに整備され、近隣の方がBBQをする時もある。



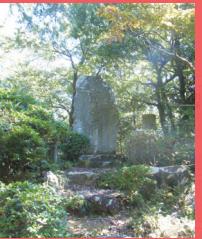
## ⑧渕町集落生活改善センター

40年ほど前に建てられ、町内の総会や団体の活動の拠点として使っている。各団体の表彰状や左義長の写真が飾られている。また、隣接する小屋には消防用ポンプ掲載台車(町内の火災発生時には活躍している)が納められている。



## ⑦忠魂碑

大正7年4月、兎越山西側(地元では長蘿山と呼んでいる)に建立された。高さ3.5メートル、幅1.9メートル、厚さ60センチメートル程の、巨大な笏谷石造り、ツルハシの跡そのままの荒削りである。忠魂碑の揮毫は、海軍大将東郷平八郎のものであり、日清・日露・太平洋戦争等での社地区(南・北・西)の戦死者の靈217柱が祀られている。



## ⑥出雲大社 福井分院

祭神…大国主命

島根県出雲大社の北陸唯一の分院。

昭和29年10月12日に島根県出雲大社から大国主大神様の御分霊を戴き、設立された。昭和44年に現在の「社(やしろ)」に鎮座し、昭和63年に神殿・結婚式場を新たに造営。平成元年には福井分院に昇格となり、北陸唯一の「出雲大社」の分院として現在に至る。

年末の恒例となっている大しめ縄は長さ5・2メートル、重さ約800キロと北陸最大のサイズ。島根県出雲市の出雲大社の氏子らでつくる企業組合が1ヶ月かけて作る。



## ②桜の道

桜の見頃になると、散歩をされる方の姿が多く見かけられ、憩いの場所になっている。



## ④お宮橋

お宮(春日神社)に通じる橋ということで、この名前をつけられた。



## ⑤春日神社

祭神…天児屋根命、素戔鳴尊

50年ほど前までは、今ある場所より上の方(兎越山)にあった。子ども達が掃除をしていたが、現在は町内の皆で墓地も合わせて清掃をしている。管理については、当番制で6軒が中心になり、しめ縄も作っている。



## ③隠れた道

ひっそりと“懐かしの道”子どもの頃は、皆でよく通り抜けていた道。

